

# 伊予里 市議会だより



秘窯の里 大川内山の夏

第42号

平成24年  
(2012年)

7月

6月補正額：1億3,420万円 予算総額：206億1,914万円 (対前年度同期 -6億2,783万円、-3%)

★平成24年第3回定例会は9月3日(月)開会予定です。

## 平成24年伊万里市議会第2回定例会 会期日程(案)

6月 開議時刻 午前10時

日	種別	内容
11(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等13件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
14(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
18(月)	本会議	一般市政に対する質問
19(火)	本会議	一般市政に対する質問
20(水)	本会議	一般市政に対する質問
21(木)	休会	常任委員会
22(金)	休会	常任委員会
25(月)	休会	正副委員長会
27(水)	本会議	決議案の上程 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会
<<特別委員会が設置されました>> ●交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会 ●防災・環境施設対策調査特別委員会		

### 人権擁護委員の承認

松尾久子さんの新任、井之一行さんの再任  
を承認しました。

## ホットコーナー

### 新企画で新たな集客を目指す!! 第23回 どっちゃん祭り

今回、新たな取り組みとして、地域性を生かした、「フリーマーケット&プチ骨董市」が開催されます。

観光元年に位置付けられた当市の魅力を、あらゆる角度からPRしていこうという試みの一つです。

開催日：平成24年8月5日(日)

会場：伊万里中心市街地

時間：午前10時から午後9時(全体)



### 全国市議会議長会 永年勤続15年表彰



笠原議員



内山議長

## 議案質疑

### 質問

教育費のうち、市営射撃場内のクレーヤワッツの回収分の処理費350万円が提案されている。今後の課題として場内は分かるが、場外の私有地の処理に市民の税金を使うのは、法的に問題ないか。

### 答弁 市長

場内から飛んだことも考えられるので対応は必要と思うが、確かに私有地の処理に全て一般財源で対応するのは慎重に考えたい。

## ちよっとした話

### 伊万里観光大使を委嘱

福岡市で伊万里ブランドフェアを開催  
観光元年を掲げ、伊万里市のイメージアップを図り、伊万里ブランドのPRをするため、伊万里観光大使を福岡市在住の著名人5名  
にお願いする。

また、伊万里の食材を伊万里焼の器で提供する「伊万里ブランドフェア」をもち浜のレストランヴァンテアンで7月14日から8月31日まで開催されます。

このための予算、86万円が決まりました。

## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました条例議案1件、一般議案3件、24年度一般会計補正予算について、2日間の審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### ○条例議案

「伊万里市税条例の一部を改正する条例制定」については、地方税法の改正に伴い、公的年金等に係る所得以外の所得を有しなかった者の寡婦(寡夫)控除に係る申請手を簡素化するための条例改正です。

### ○一般議案

「あらたに生じた土地の確認」と「字の区域の変更」については、山代町立岩字尾路崎地先の公有水面が港湾施設用地として埋め立てられたことに伴い、あらたに生じた土地の確認をするとともに、当該土地を山代町立岩字尾路崎に編入するものです。また、佐賀県市町総合事務組合理約の変更について、協議するものです。

### ○予算議案

主なもので、「伊万里港浦ノ崎地区環境対策事業」については、平成23年度に川南造船所跡の建物解体工事の折に出現した廃棄物(アスファルト)280トンについて、県補助金を活用し処分を行うものです。

また、地域の元気推進事業の「地域づくりアドバイザー事業」については、アドバイザーによる講演とパネルディスカッションを行うものです。この事業のアドバイザーの選定については、地域づくりの専門知識を有する講師をお願いするとともに、一般市民の参加ができる環境づくりに配慮するよう意見がありました。

### ○要望事項

①災害対策事業については、伊万里市で初の原子力防災訓練が実施されるが、実際に原子力事故が発生した想定で、現実に近い訓練・計画づくりで実施すること。

②消防に関する予算については、消防隊員及び消防団員の装備は、厳しい財政の中で、装備の更新が限られているが、非常時に不備が生じることがないようにすること。

以上、要望しました。

### ○現地調査

現地調査は、今年4月に機構改革が行なわれ、伊万里湾総合開発・国道対策課が総務委員会所管となりましたので、西九州自動車道及び伊万里港の整備状況について、七ツ島コンテナターミナル(黒川町)と西九州自動車道谷口インター付近(南波多町)の現地確認を行いました。

また、所管事項の原子力防災については、市内3箇所に配備されているモニタリングポストと安定ヨウ素剤の配備状況を、今回は南波多公民館で確認を行いました。



七ツ島コンテナターミナル

◎渡邊 英洋 ○盛 泰子  
内山 泰宏 東 真生 副島 明  
馬場 繁 山口 恭寿 松永 孝三

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、  
教育委員会、市民病院

当委員会に付託されました予算議案2件、  
24年度一般会計補正予算、並びに24年度介護  
保険特別会計補正予算について審査の結果、  
原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 介護基盤緊急整備等対策事業 …62,000千円

これは、認知症高齢者グループホームの開  
設に伴う施設整備に対し補助を行うもの（補  
助上限3千万円／1施設）で2施設分。質疑  
では、防災改修等での補助対象の範囲や、場  
所はどこが想定されているのか、開設場所に  
ついては全体のバランスも考えて偏らないよ  
うに等の意見があった。執行部からは、今回  
の補助は年度内事業完成が条件ということも  
あり、今公募を受け付けている。その後、遍  
在性を考慮して選定をしたいとの説明を受け  
ました。また、市内の宿泊可能介護施設の県  
指定、市指定の様々な類型や具体的内容の資  
料と説明を求めました。

### 糖尿病等生活習慣病予防事業……1,728千円

生活習慣病予防のための健康支援講座を開  
設するため、対象者は30歳以上の特定健診  
受診者。糖尿病予備軍またメタボ症候群の疑  
いがあると診断された人が対象。約200人を  
予定。内容は、動脈硬化あるいは睡眠時無呼  
吸症候群の検査や健康運動指導士がいる施設  
での運動教室等の実施が考えられています。

### 体育施設管理事業……3,514千円



散弾銃射撃場回収済産業廃棄物

射撃場内外で集めたクレー等の鉛検査及び  
運搬処分を行い、さらに、射撃場外の耕作田  
の土壌検査を行い農地の安全性を確認するた  
め。（クレー186t、ワッズ8.6t）

### 可燃ごみ収集業務委託料 ……73千円

当初予算での入札不調により、その後の随  
契による金額の不足分。この件に対しては、  
積算根拠を含めた、当初予算の算定の在り方  
についての質疑がありました。積算根拠の明  
確な目安が示されていない中で、例年厳しい  
予算配分の中、実績を参考に算定してきてい  
るが、来年度以降については検討していく旨  
の答弁がありました。

### 公民館管理運営事業……3,392千円

施設の改修工事等を行うもので、多目的ト  
イレの設置や、消防用設備改修、空調機器購  
入が含まれています。多目的トイレについて  
は、オストメイト対応も含むのかの質疑の中  
で、今回は、一部改修ということもあり、オ  
ストメイトまでは考えていないが、入札減等  
の状況を判断して、検討していく旨の答弁が  
ありました。

★委員会終了後、国見台徒渉プールの改修状  
況、就労支援施設である「国見の里」・「い  
まりの里」の現状について、伊万里市民図書  
館では、市の公的施設としての図書館の考え  
方や、デジタルサービスの状況について管内  
視察を行いました。



国見台徒渉プール改修状況

◎樋渡 雅純 ○福田 喜一  
前田 久年 井手 清敏 梶山 太  
多久島 繁 草野 譲 高木 久彦

## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

本委員会に付託されました、平成24年度伊万里市一般会計補正予算について審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。主な質疑内容は次の通りです。

## 【産業部】

- ・活気あふれる産業づくりとして、強い園芸農業の確立のため伊万里梨省エネ組合に対し、生産振興に必要な機械・施設等の整備補助金が計画されました。
- ・工場等設置奨励事業については、伊万里に新規操業開始した企業に対し、1年以上雇用された従業員を特定し、補助金交付要綱に則り23人分の奨励金を交付する事になります。

今後は、地元雇用はもとより、正規雇用が何%とか条件にする事も検討すべきではないかとの意見が出されました。

- ・伊万里市観光元年と銘うっての観光事業については、これからの地道な努力も必要であるが、大きな目玉になるような企画が見当たらない。

イベントの内容充実もさることながら、事前の告知PR活動にも力を入れてほしい。インターネット情報発信も含めた積極的な仕掛けづくりを要望しました。

## 【建設部】 議案なし

## 【水道部】 議案なし

- ・第4工業用水道事業貯水施設建設工事に対する仲裁申請について、今後何らかの動きがあれば市議会に逐次報告するよう3月議会・委員会で要望しておりましたが、今回5月30日に国土交通省で第1回の中央建設工事紛争審査会が開かれ、伊万里市側から水道部職員と顧問弁護士が出席。提訴した相手側より仲裁を求める事項内容が述べられ、次回は7月24日に開催される予定との報告がなされました。

## 伊万里市観光元年！ 観光ニュース

- ・観光事業活性化の一環として、7月から市の観光戦略室が伊万里市駅ビル2Fに移転

常駐しています。観光事業の旗振り役としての活躍を期待します。



- ・毎月第3日曜日 **伊万里トラック朝市**が市民センターお祭り広場で開催されます。農産物の販売や加工品づくり体験など、都市住民と農山村の人的交流促進、市街地における賑わいを狙いとして計画されています。初回は7月15日(日)です。
- ・すっかり夏の風物詩として定着した感のある大川内山・**風鈴まつり**が、今年も8月31日まで開催されています。涼やかな風鈴の音色に季節を感じ、この夏の省エネ効果も求めてみましょう。
- ・福岡都市圏をターゲットした**伊万里ブランドフェア**が福岡市で開催されます。7月14日から8月31日まで福岡ヤフードーム近くのホテル『ハイアットレジデンシャルスイート』内の『レストラン・ヴァンテアン』にて伊万里産食材を伊万里焼の器で提供するなど伊万里の特産品を活用したPRを行うイベントです。また、博多駅ビル・阪急の食料品コーナーでも伊万里の食材を使った料理教室が開催され、伊万里・大川内山の風鈴のディスプレイ展示など伊万里のPRが行われます。市議会産業建設委員会メンバーも、7月25日に福岡市においてPR活動に参加するよう計画しています。
- ・7月2日から**いまりんバス・郊外線**が運行開始しています。地元要望も考慮されて決定した3つのコースを、12人乗り小型バスが各コース週2日運行されます。市民のみなさまの身近な交通手段として期待されます。以上

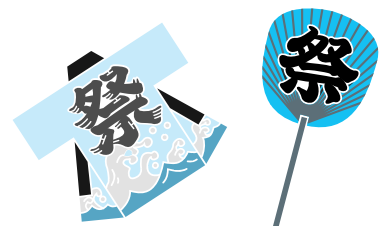


◎松尾 雅宏 ○前田 和人  
香月 孝夫 井手 勲 松尾 博幸  
笠原 義久 占野 秀男 田中 啓三

# 一 般 質 問 (質問順)

## 一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
馬場 繁 (一問一答)	1. 下水道事業について (1)下水道の整備計画について (2)公共施設の水洗化について	香月孝夫 (一問一答)	1. 観光振興について (1)観光戦略室の位置づけとその業務内容 (2)伊万里市観光戦略の年間計画 (3)観光振興の情報発信 (4)伊万里市の「おもてなし」 2. いまり秋まつり（トンテントン祭り）について
高木久彦 (一問一答)	1. 御役所仕事の返上について (1)諸申請の簡素化 (2)公共施設の維持・管理 2. 交通安全施設の整備について (1)歩道・ガードレール等の設置 (2)歩道用地用空地の先行取得	草野 譲 (一問一答)	1. 本市が掲げる観光行政について 2. 伊万里市第4工業用水道事業貯水施設建設工事に対する仲裁申請について
前田和人 (一問一答)	1. 少子高齢化社会の進展—その予測と対応 2. 公共施設の維持管理、再配置の計画策定について	副島 明 (一問一答)	1. 九州電力との安全協定締結に臨む伊万里市の方針とこれまでの経過について (1)立地自治体と同等の安全協定締結を目指す意義 (2)市長会、町村会との考え方の一致はできるのか (3)安全協定締結への県の関わりについての考え 2. 留守家庭児童クラブの運営状況と今後の課題について (1)所管が教育総務課にある意義について (2)施設、指導員数、開設時間などの考え方
松永孝三 (一問一答)	1. 下水道事業について（公共下水道・農業集落排水・浄化槽設置） 2. 地域防災について	前田久年 (一問一答)	1. 観光行政について 2. 高校生への就職支援について
樋渡雅純 (一問一答)	1. 防災教育について (1)実践的防災総合教育支援事業 2. 学校施設の耐震化 (1)I s 値0.7未満への今後の対応 (2)非構造部材の点検と対策 3. 今後増大する公共施設の維持管理について (1)水道施設の維持・管理 (2)ファシリティマネジメントの考え方 (3)施設管理部署の一元化とデータベースの充実	山口恭寿 (一問一答)	1. 東日本大震災がれき受け入れについて 2. 災害時の避難場所について（伊万里小学校体育館・大坪小学校体育館・伊万里中学校体育館の現状）
井手清敏 (一問一答)	1. 観光行政について	占野秀男 (一問一答)	1. 市民スポーツの振興について (1)グランドゴルフ場について (2)市営射撃場問題について 2. 観光行政（観光元年）の意義と取り組み
盛 泰子 (一問一答)	1. 危機管理について (1)原子力防災に関して ①九州電力との安全協定へ向けて ②消防相互応援協定と防護服 ③避難所運営への県の関与 (2)希少種への対応 2. 政策決定における市長と「教育委員会」の協議について (1)意見交換の場の設定 (2)県内公共図書館のネットワーク 3. 「空き家条例」について (1)検討内容 (2)空き地管理への言及 4. 「住民生活に光をそそぐ事業」について		



一般質問

下水道事業について

馬場 繁

下水道の整備計画について

質問 ①平成23年度末の普及率（全人口と利用可能人口の比）及び水洗化率（利用可能人口と利用者人口の比）。

②「工事費の融資あつ旋制度」の拡充（農集、浄化槽設置への適用と償還期限の延長）。

③使用料算定の一元化。

④下水道事業の今後の計画。

答弁 建設部長

①普及率は、公共下水道51%、農業集落排水4%、合併処理浄化槽設置11%、合計66%。水洗化率は、公共93%、農集（井手野）71%、（宿）64%。

②接続工事に取組みやすい制度に検討したい。

③仕組みが異なるため事務効率面でマイナス。また農集では実態と異なる事例

もあり水道使用水量による料金賦課に関係者と協議を行いたい。

④公共下水道伊万里処理区の認可区域を28年度までに完了し同処理区黒川地区・山代処理区及び農集（松浦東部・西部）漁集（波多津浦）は「汚水処理総合計画」見直しの中で検討をしたい。

公共施設の水洗化について

質問 ①教育委員会所管施設の下水道接続の状況。

②貴所管施設は教育、市民交流の場であり早急に整備する必要があると考える。未接続施設の今後の整備計画は。

答弁 教育部長

①下水道の供用開始区域内には34施設があるが、その内12施設が未接続である。②接続する必要があることは認識しているが、多大な費用を要するため新築や改築工事に合わせて整備に取組みたい。

お役所仕事の返上について

高木 久彦

質問 市からの医療費助成金を受け取るには、仮に、二つの病院にかかり、二つの薬局から薬を購入した場合には、四枚毎月同じ事項を記入し提出しなければならぬ。申請書は、月一枚提出で良いように簡素化できないか。

答弁 市民部長

この助成金の申請件数が多く、事務手続きに誤りがないように多くの労力を要している。簡素化については、随分検討を行ったが、まだ妙案は出ていない。方法として、償還払いから現物給付にすることが出来ないかと思う。県の助成制度でもあるので、県に確認し、取敢えず、二枚目以上は記名押印と受給者資格証番号だけを記入すればよいように、7月からの更新を説明するようにしたい。

質問 最近、悲惨な交通事故が相次いで発生したが、どれも歩道やガードレールのない場所であり、市内でも起きないとは言えないと思う。国道沿いなど既に空き地になっている土地が多く見受けられるので、そのような土地を前もって歩道要地として、避難場所として取得できないか。

答弁 市長

土地の先行取得は「塩漬け土地」と言って、自治体の赤字を助長していると批判されている。開発公社での先行取得は、認可を受けた事業用地でなければ出来ない。質問の趣旨は理解できるので、危険性がある個所については、県や市の単独事業として取り上げたならば可能である。今後検討したい。



少子高齢化社会の進展に対する予測と対応

前田 和人

質問 少子高齢化が進む中で、市における現状と将来予測はどうか。

答弁 政策経営部長

高齢者率は現在25%、十年後は32%まで増加し、それを支える若い世代である生産人口比率は現在の60%から51%まで減少すると推計している。

質問 少子高齢化が更に進む予測の中、高齢者対策また、若い世代への対応策はどうか。今後状況に応じた実施計画の随時見直しと着実な実施を要望するが。

答弁 市長

国の施策動向を踏まえながら、医療・介護を含め高齢者対策には充分留意して取り組むたい。また若年層を支える意味で企業誘致推進や子育て支援にも更に努力していきたい。

# 一般質問

**質問** 公共施設の維持管理、再配置の計画策定について伊万里市の公共施設の状況と必要コスト試算は。

**答弁** 政策経営部長

現在、現状把握作業を始めているが、将来予測と中期計画策定には至っていない。

**質問** 先進事例として、神奈川県秦野市の実践モデルがある。

**答弁** 政策経営部長  
全庁的に議論し、施設管理のあり方や将来計画まで策定されている。ぜひ参考にすべき。

**質問** 市長には将来への布石として、検討組織の編成と計画策定作業への号令を発すべきと要望するが。

**答弁** 市長  
老朽化する施設の維持管理、将来計画は重要な課題であり、早急にプロジェクトを立ち上げ、状況把握から計画策定へ進めていきたい。

## 下水道事業について

松永 孝三

**質問** ①財政健全化に向けた取組みについて。

②浄化センター維持管理費の削減の取組みについて。  
③市町村型浄化槽設置の導入について。

**答弁** 建設部長

①支出の単年度にかかる負担の低減を図り、収入の負担金、使用料の未収入の徴収については、督促の電話や戸別訪問など徴収活動を行い、財政健全化計画に基づき、料金の改定を行い、健全化に努めているところです。

②浄化センターの光熱水費の削減について、電気料金が安い夜間運転を行わない節減を図り、省電力の機器への更新を計画しております。

③本市の財政状況において市町村型に取り組むことは厳しい。

## 地域防災について

**質問** ①地区防災会の取組みについて。

②地域消防団の防災対応について。

③地域コミュニティを活用した防災対応について。

**答弁** 総務部長

①地区防災会は市内全行政区において設置、東日本大震災後の見直しについては、高齢者や障害者の災害時要援護者の避難誘導について追加。原子力防災訓練、情報伝達訓練を実施する予定である。

②消防団においても、活動マニュアルを作成しており、火事・風水害・地震・津波に対応する項目も示しています。

③防災対策におきましては、地域コミュニティの存在は重要であり、効果が期待できます。今後とも地域コミュニティを活用した防災対策に取り組んで参りたいと考えております。

## 学校施設の耐震化

樋渡 雅純

**質問** ①施設の整備については、安全性の確保と、地域拠点としての機能の確保が緊急提言された。本市の耐震化の現状は。

②今年度末には全国的には90%の達成が見込まれる。市の遅れの理由は。

③耐震診断の実施棟の今後は。

**答弁** 教育部長

①小中学校で29棟の診断を終え、安全性の確保は7棟耐震補強は3棟、未診断は11棟。②財政的なこともあり改築のペースが遅れた。

③11棟については今年度、来年度で終えたい。④チェックリストに従い実施してきているが、多岐にわたる緊急性のあるものからその都度、対応している。

**公共施設の維持管理**  
①水道施設の改修状

況は②本市の法定年数を超えた管の現状は。

**答弁** 水道部長

①老朽化の激しい大川、松浦、藤ノ川内を含んで新大川浄水場として7月に開始。浦ノ崎簡易水道は本年度完成予定。有田川浄水場はH25年から更新に着手する。  
②40年以上の老朽管の割合は5・6%。10年間の敷設替え計画に沿って実施中で22・6%の進捗率。

**質問** ①本市の30年以上経過の公共施設の割合は。

**答弁** 政策経営部長 市長  
①60棟で58%を占めている。②施設を資産としてとらえ、最少の経費で最大の効果が出るよう最適化するシステムで、最適の在り方を把握できるメリットがある。施設のデータベースを充実し、対策を進めるプロジェクトを設けたい。



一般質問

観光行政について

井手 清敏

質問 観光振興の取り組みについて。

答弁 産業部長

伊万里の特産品をPRして福岡都市圏に売り込み、伊万里のすべての観光資源を活用して、お客様呼び込みたい。そして、交流人口を増やしていきます。

質問 支援体制は。

答弁 産業部長

ブランド係の設置や伊万里食三昧など、色々な組織の総合力で、商品開発、PRして支援をしていきます。付近の開発について。

質問 西九州道谷口インター

付近の開発について。

今のところ計画はありませんが、市内六ヶ所、無料インターが出来ます。町としての取組の中、素通り通過させないような対策を市と連携してして、考えていかなければなりません。

危機管理について

盛 奏子

質問 玄海原発の安全性を担保する安全協定に関して、立地自治体並みの「事前了解」を。伊万里市は東北大震災以前から原発安全対策を求めている、その姿勢を貫くべきだ。

答弁 市長

福岡県や長崎県が九州電力と結んだ内容では報告を受けるのみであり、市民の安心を守るために「事前了解」を求めている。「九電に桶突く市長」と言われている。

質問 希少種の保護について

希少種の保護について

県が6百万円余をかけて調査した玄海地区希少生物調査の結果は伊万里市に共有されたのか。

質問 ①データは届いたが、直近の調査結果は反映されていないとのこと。

②8月の

県内市長会の議題に追加し問題提起する。

市長と「教育委員会」の協議

他自治体での対立構

図は異常。良い関係づくりのために「平時」から懇談を。

質問 ①教育委員長、②市長

①現在、問題は皆無だが、他の委員と前向きに検討する。②懇談の設定に異論はない。

質問 県内の図書館にはどのようなネットワークがあるか。

答弁 教育部長

相互貸借や雑誌の分担保存、研修などを行っている。

質問 空き地の管理

住宅地では空き地の管理に悩まされている。罰則を加える必要があるのでは。

答弁 市民部長

年間8件程度の相談がある。罰則強化ではなく市から所有者へ連絡し、対応を促す。

観光振興について

香月 孝夫

質問 観光戦略室の位置づけと、その業務内容。

答弁 産業部長

観光課内へ観光戦略室及び伊万里ブランド課の設置を行い、観光協会や観光エージェントなどと連携。観光戦略室を7月に駅ビル内へ移し、観光振興の強化を図っていきたい。

質問 伊万里市観光戦略の年間計画。

答弁 産業部長

現状を十分に分析し、最大のターゲットを福岡都市圏に定め観光客の誘致、伊万里ブランドの販売促進を軸にした、年次の観光戦略で、交流人口の増大を図るとともにリピート客の拡大を目指したい。

質問 観光振興の情報発信。

答弁 産業部長

ネット社会の進展を踏まえ有効な手段の一つであると考えている。今後もより

「見やすく、わかりやすい」魅力的な情報発信のツールとして活用していきたい。

質問 伊万里市の「おもてなし」。

答弁 産業部長

伊万里港へ「につぼん丸」が4月29日に寄港した際、約370名の方が、大川内山や有田陶器市などへ立ち寄られた。その際、船内では歓迎セレモニーを行うと共に、船内へブースを設け、伊万里焼や伊万里牛、また観光スポットなどのご案内を行った。

質問 いまり秋祭り(トントン祭り)について

秋祭りの二日間の開催に出来ないか。

答弁 市長

現行のトントン祭りの状況に合わせての実施となっている。①伝統文化の継承 ②地域経済の活性化 ③観光客の増大など地域経済に及ぼす効果は大きかったゆえ寂しさを感じる。安

幕をはじめ、核となるところの構築が図られれば開催を検討していきたい。

## 一般質問

## 本市が掲げる観光行政について

草野 讓

**質問** この政策をどのように、具現化策を発信し現実に向けて取り組んでいかれるのか、その大きな課題の一つにトンテントンの再開をどう考えるのか。

**答弁** 産業部長

トンテントンは本市の観光資源の中でも大きなウェイトを占めていた。不幸な出来事があり、今は行われてはいないが、神事ごとであり主催者側が判断されると思う。市民の声として再開の声はある。再開は祭りの活性化に繋がると思う。

## 伊万里市第4工業用水道事業貯水施設建設工事に対する仲裁申請について

**質問** 突然の約6億円追加費用の仲裁申請である。①

なぜ2年も経った今頃なのか。②この問題は何時の時点から発生したのか。③市

長はこの問題で相手の社長とトップ同士の会合は何回かされたのか。

**答弁** 市長・水道部長

①②H22年1月頃、変更契約に係る積算根拠の見解の相違と云う事で相手側から申し出があった。今日まで問題解決に至らず紛争審査会に持ち込まれた。③竣工式の時社長と一度お話しした。その時は話は出なかった。

**質問** 普通の工事契約ではこんな問題は発生しない。相手側も相当の覚悟を持って紛争審査会に臨んでいる。この一件は契約をしている工事代金をどう扱うのかと云う問題である。もし相手側の主張どうり支払うとなれば法的な問題もある大変な問題だ。県との関連もある。議会対策もある。

**答弁** 市長

県とは話し合いをしている。知事は受けて立っていても云いと言っている。いずれにしても審査会の結審を待たなければならぬ。

## 九州電力との安全協定締結

副島 明

**質問** 市長が立地自治体並みの安全協定を目指す理由は。

**答弁** 市長

佐賀県と同じ内容で市町が九州電力と協定を結んでもいいと考えている。少なくとも玄海原子力発電所から30km圏内の自治体とは立地自治体並みの協定を結ぶべきだと九電に働きかけているが難しい状況です。市民の不安を少しでも払拭し行きすぎに歯止めを掛ける意味でも今後も立地自治体並みの協定を求めていきたい。現在、市長会で九電に要望しているが返答がない状況なので、県が利害関係のない第三者機関を作るのであれば判断を任せられるのではないかと思っております。いづれにしても市民と議会の後押しがあれば粘り強く安全協定を求めていきたい。

## 留守家庭児童クラブの運営と今後の課題について

**質問** 所管が教育総務課にある利点はなにか。

**答弁** 教育長、教育部長

学校の敷地、建物は教育総務課の管理になっており、営繕関係も総務課でおこなっています。また、学校との連携と情報の共有、指導員と先生との定期的な協議もおこなっております。

**質問** 施設、開設時間、指導員数、の考え方。

**答弁** 教育部長

波多津児童クラブの照明については早急に改善をしたい。牧島児童クラブのスペースについては県のガイドラインにそった広さがある。大坪児童クラブの分割についても同様に考えている。

**質問** 保護者の就業形態をみると開設時間の延長と日曜日の開設も必要になってくるのではないか。

**答弁** 開設時間の延長の要望は多くはないが、指導員が協力している処もある。日曜日の開設は今では考えていない。

## 観光行政について

前田 久年

**質問** 伊万里市における観光行政の位置づけ。

**答弁** 産業部長

本市におきましては、経済の長引く停滞の中、いかにして、地域経済を活性化させるということは、大きな課題となっております。交流人口の増大による経済的な効果が高い観光の振興については重要な施策ととらえております。

**質問** 観光戦略について。

**答弁** 市長

平成26年度には、西九州自動車道谷口インターが開通し、巨大消費地である、福岡都市圏と本市は1時間程度で行き来できるようになり、人口200万人を超える、福岡都市圏から本市へ多くの観光客を呼び込むので、これから観光に力を入れ、交流人口の増大をはかります。

一般質問

高校生の就職支援について

質問 就職支援のこれまでの取り組みについて。

答弁 産業部長

ハローワークや商工会議所、地区内高校等と連携して市内企業の情報を掲載した「ふるさと企業ガイドブック」の作成、配布をはじめ、市内企業の視察研修会や雇用対策についての、懇談会の開催のほか、ハローワークや佐賀労働局から就職面談会や雇用に関する助成制度などの情報についても随時、ホームページなどに掲載するなど雇用に関する情報提供を行っている。

がれき受け入れについて

山口 恭寿

質問 東日本大震災の震災がれき伊万里でも受入れを検討出来ないか。

答弁 市民部長

市の環境センターの処理能力・最終処分場の状況から言っても現状でいっぱい。質問 H27年度稼働予定の佐賀県西部環境組合もしくは移行した後の伊万里市環境センターで対応出来ないか。

答弁 市民部長

政府がH26年3月度をめぐりにがれきの処理補助をしているためそれ以降の事は現状考えられない。

避難場所となりうる小中学校の体育館について

質問 小中学校の体育館で耐震診断が終わっていないのが伊万里・大坪・大川内小学校の3校。そして、診断が終わり危険とされているのが、伊万里中学校と南

波多中学校。大坪町民、大川内町民はどこに避難すればいいのか。

答弁 総務部長

状況を見て自治公民館等、安全な所へ誘導する。

質問 伊万里中学校体育館の診断結果が悪いため、少なくとも大坪小学校・大川内小学校の体育館の耐震性は確保しておくべき。早急の対応を要求する。また、伊万里小学校の体育館は以前より雨漏りが、大坪小学校の体育館は天井と足元の窓に不具合が、伊万里中学校の体育館も雨漏りが1ヶ所。その対応は。

答弁 教育部長

伊万里小学校と伊万里中学校の体育館は次に雨漏りが確認しだい。大坪小学校の体育館は夏休み期間を利用し補修する。

市民スポーツの振興について

占野 秀男

質問 認定グラウンドゴルフ場の設置について、9年前から要請し、一時黒川中跡地に予定されたが、その後設置の話も聞かないがその後の取組みは。

答弁 競技人口も多く要望は理解できるが、他の施設の改修など優先順位から今すぐは難しい。

質問 3月議会で質問した市営射撃場の存続要請と署名に対する回答がなかったが、ご覧になったか。

答弁 確かに存続と有害鳥獣駆除をするために、との要請と5、112名分の署名をいただいた。が環境問題もあり決断した。

質問 教育委員会にも諮ったとの回答があったが、議事録を見ると教育長の判断と違うが。

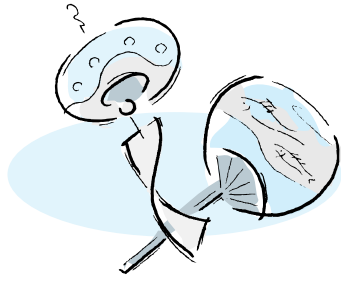
答弁 資料の議事録の日だけでなくその後7月、8月、9月にも開催した。

質問 待って下さい、射撃場廃止関係の協議をした委員会の議事録をお願いしたが6月の委員会後はない、との返事であった。今になってその後も協議したような話は納得できない。勝手すぎないか資料を出していただきたい、その上で改めてやる。

観光元年の意義と取り組み

質問 観光元年の意義と何をどうするのか。今回は5人が観光問題で質問したが答弁で考え方はわかったが、決め手がない。確実なヒットも大事だが、市内外の人が関心を持つためにはホームページがほしい。検討してほしい。

答弁 これまでの取り組みに加えて新たな戦略を持って福岡都市圏を中心に伊万里を売り込みたい。買い物客や宿泊客に「伊万里牛」をプレゼントすること等も検討していきたい。



## 平成24年度 議会運営委員会行政視察報告書

## 編集後記など

京都府長岡京市議会 5月31日(木) 13:30~15:30  
議会基本条例について

平成22年2月に、市民の方からの請願により、基本条例制定に向けた審査をはじめ、審査の結果、同年6月に全会一致で本会議で採択された。同年7月より、基本条例について調査研究や講師を招き、議員互助会で研修会を開催、また、先進地視察を行うなど、2年間で29回の審査を経て、平成24年3月議会に議案上程され、可決されました。まずは、「基本理念」や「議会・議員」の在り方について決定し、その後、具体的な内容については検討していくこと。市の総合計画の基本計画についても議会の議決事項とする。本会議、委員会の資料を傍聴者が閲覧できるように努めた。市民と議会との関係、議会と市長等の関係を明文化する。以上このほか、議会改革に対する23項目についても鋭意検討をしていくこととしている。

兵庫県神戸市会 6月1日(木)9:30~11:30  
議会基本条例について

平成23年3月に市会運営委員会において、市会運営の改善について決定、同年6月に、議会

改革検討会を設置し、大学教授を講師としてセミナーを開催した。また、先進地視察を行い。検討項目を整理、優先検討項目から順に検討する中で、議会基本条例の検討項目としてあがっていた。基本条例の制定の検討の中では、執行機関に対するチェック機能の強化、市民参加の積極的な促進、政策立案・提言機能の充実、議会及び議員活動の在り方等を順次検討する。これらの検討結果を受けて「座長思案」のまとめがなされた。検討会を約1年間計12回の論議が重ねられ、議会基本条例案が6月議会に提案されるとのことであった。議会運営が政党を軸に各代表者、各幹事長を中心に構成されて「議会基本条例」の合意がなされた。

以上、2市への行政視察を行い、主に議会基本条例について視察を行ったが、議会基本条例の制定の可否も含め検討するが、議会として全会一致で可決させることが原則でなければならないと感じた。

◎占野 秀男 ○松永 孝三  
東 真生 馬場 繁 草野 譲  
渡邊 英洋 田中 啓三 盛 泰子

## 伊万里市議会だよりの編集委員が変わりました



- 梶山** 今回初めて編集委員を担当します、1期生の梶山です。凶らずも副委員長の大役を仰せつかりました。松永委員長をしっかりと支えていきたいと思ひます。
- 香月** みなさまの必要とする情報を、分かりやすく提供し、より親しまれる紙面づくりを目指します。
- 山口** 議会を市民の皆様によりわかりやすくお伝えしたいと思います。
- 井手** 市民の皆さんに親しまれる紙面づくりに努めたい。
- 樋渡** 市民の皆様により読まれる紙面づくりを目指します。

発行 伊万里市議会  
伊万里市立花町一三五五一  
☎0955-23-12594  
☎0955-22-1277  
E-mail: gkai@city.inari.lg.jp

編集 市議会だより編集委員会  
印刷 山口印刷株式会社

・編集委員  
◎松永 孝三 ○梶山 太 香月 孝夫  
山口 恭寿 井手 勲 樋渡 雅純

・顧問  
前田 久年 占野 秀男

風鈴の音が涼しく感じられる季節となりました。東日本大震災から2度目の「節電の夏」を迎えることになりました。役所も企業もそして、家庭でも電気の使用の抑制を余儀なくされます。子どもの頃、夏になると蚊帳を吊るして寝るのが楽しみでした。部屋の灯りを消して、テレビもつけずにゆっくり過ごすのも良いのではないのでしょうか。

編集委員会のメンバーが変わりました。「議会だより」が、今までにも増して、市民のみなさまに親しまれるような紙面づくりに努めてまいりたいと思ひています。ご意見、ご要望ございましたらお寄せください。(松)

## 編集後記



暑中お見舞い申し上げます  
公職選挙法の規定により、選挙区内の皆さんへの金品を伴った初盆のお参りや、時候のご挨拶には制限がありますので、失礼させていただきます。議員一同